

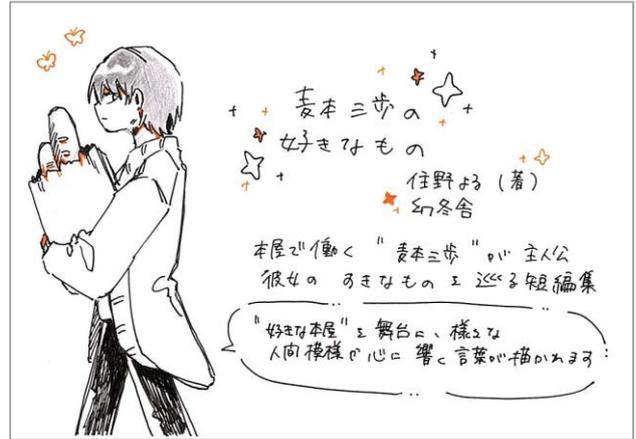
# 図書館だより

今回は1年生の広報係が担当しました。図書委員による本の紹介をお楽しみください！  
※今年度、通常の図書館だよりはクラッシーでお送りしています。9月号では進路に関する本の紹介がありますので、そちらもご覧ください。

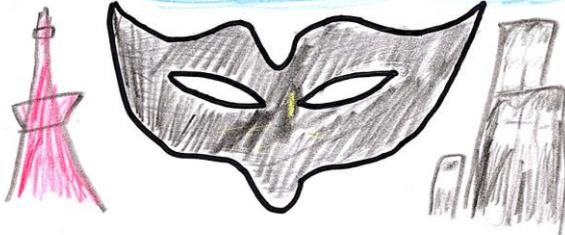
▽ 麦本三歩の好きなもの 第三集 ▽

住野よる(著) 幻冬舎

図書館司書として働く 麦本三歩は、人見知りなマイペースな女性  
新しい年を迎え、彼女の日常にも変化が訪れる。  
大学の図書館に勤める三歩の元には、真面目な先輩や、  
謎めいた近所の人など 様々な人物と出会い 少しづつ  
新しい日々に変化していく話である。



誰もが仮面を持っている



## マスカレードライブ

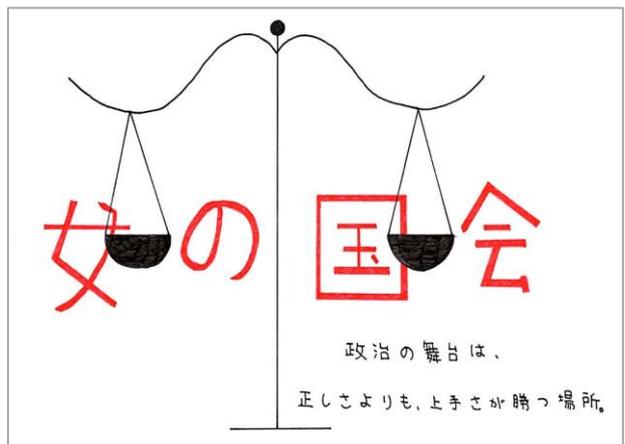
『マスカレードライブ』  
東野圭吾(著) 集英社

元刑事である新田浩介とホテルマンの山岸尚美が  
働いているホテル・コルテシアが急遽「日本推理  
小説新人賞」の選考会会場になった。この賞には「ある事件  
」が関わっており新田と山岸はお客様の安全のために  
最善を尽くす。映画化もされた大気シリーズ第5弾!

「女の国会」

新川帆立(著) 幻冬舎

「女の国会」は国会議員の一人が遺書を残して命を絶つところから始まる政治ミステリーです。その死の背景には、政界の複雑な人間関係や権力争いがあり、緊張感と説得力のあるストーリーが展開されます。





『ミシンと金魚』 永井 みみ (著)  
集英社文庫

『ミシンと金魚』は、カワイエムというおばあさんが自分の人生を振り返って語る小説です。子どものころのつらい体験や、夫に逃げられてからミシンで働く毎日、トイレで赤んぼを産んでしまう場面など、印象に残る出来事がたくさん出てきます。読んでいて切ないところもあるけれど、人の救いや温かさも感じられる作品です。

『号泣する準備はできていた』  
江國 香織 (著) 新潮文庫

この本は恋愛の短編集で「ほこほこバスケット」や「清」など色々な物語が収録されています。主人公の状況が一つ異なるので自分と似たようなものを感じる物語もあると思います。恋愛ものが好きな人におすすめです。



号泣する準備  
はできていた

『クローズド  
サスペンス  
ヘブン』

「ここは、天国です」

『クローズド サスペンス ヘブン』

五条 紀夫 (著) 新潮文庫

殺されたはずの男は海辺で目を覚ました。  
既視感のある洋館、記憶をなくした6人の男女。  
不思議な世界で自分たちの死の真相を探す  
天国 サスペンス。

『黄金比の縁』 石田 夏穂 (著)  
集英社文庫

主人公は(株)Kエンジニアリングの人事部で新卒採用担当の小野。もともとは化学の専門知識を活かして花形部署にいたが、あるトラブルから人事部へ左遷される。彼女は会社への密かな復讐として「会社の不利益になる人間を探る」ことを誓う。

「採用基準は、  
顔の黄金比！」

黄金比の縁

